

12. 中英語と方言

要点

- 中英語は古英語からどのように発達したか
- 中英語期に英語の地位は低かったのはなぜか
- 中英語の方言によって現代英語の何が説明されるか

なぜこの綴字でこの発音？

- (), (), ()
- (), ()
- () #86, #89

現代英語の特徴（復習）

- +1. () Vocabulary
- +2. () Simplicity
- +3. Natural ()
- 4. () Expressions
- 5. () Gap

中英語の言語的特徴（復習）

- 屈折語尾の（ ）化： synthesis →
（ ） #522
- （ ）性の消失
- 語彙の（ ）化 #117

() に依存する古英語（復習）

- *se hlāford* lufaþ *pā hlæfdigan*
- *pā hlæfdigan* lufaþ *se hlāford*
- *se hlāford* *pā hlæfdigan* lufaþ

() に依存する中英語 (復習)

- the lord loueth the lady
- the lady loueth the lord

古英語の “the” の屈折

#154, #156

Case	Singular			Plural
	Masc.	Fem.	Neut.	All genders
Nom.	se	sēo	þæt	þā
Acc.	þone	þā	þæt	þā
Gen.	þæs	þære	þæs	þāra
Dat.	þæm	þære	þæm	þæm

OE の () 韻と ME の () 韻

- 古英語の詩は、語頭の () 音での ()
- 中英語の詩は、行末の () 音での ()
- ゲルマン語は、() アクセント
- ロマンズ語は、() アクセント

古英語詩の例

'Me sendon to þe
heton ðe secgan
beagas wið gebeorge;
þæt ge þisne garræs
þon[ne] we swa hearde
Ne þurfe we us spillan
we willað wið þam golde
Gyf þu þ[æ]t gerædest

sæmen snelle,
þæt þu most sendan raðe
and eow beter is
mid gafole forgyldon
[hi]lde dælon.
gif ge spedaþto þam;
grið fæstnian.
þe her ricost eart,

中英語詩の例

Whan that Aprill with his shoures soote
The droghte of march hath perced to the roote,
And bathed every veyne in swich licour
Of which vertu engendred is the flour;
Whan Zephirus eek with his sweete breeth
Inspired hath in every holt and heeth
Tendre croppes, and the yonge sonne
Hath in the Ram his halve cours yronne,

中英語の社会的地位

- 古英語後期には（ ）方言が標準（ ）として存在した.
- しかし、（ ）年以降、英語は公的言語の地位を失い、
- 民衆の言語へと下落.
- 代わって、支配者の言語たる（ ）語と

- ヨーロッパの国際共通語 ()
たる () 語が尊重された.
- 英語はもっぱら () 言葉となり,
- () 言葉としては軽視された結果,
- 英語を統率する機関も, 権威ある書き手も, 辞書も, 文法書も生まれなかった.

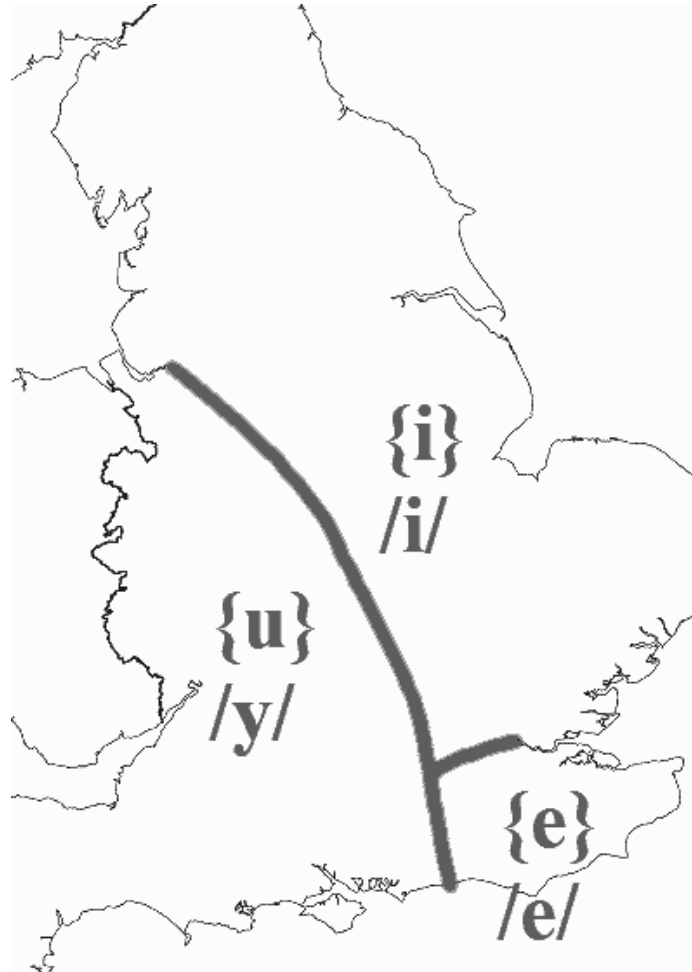
中英語期は、() の時代

- 中英語の書き手や、文章を筆写する写字生 () は、自分の方言 () をそのままスペルアウトした.
- 写字生ごと、作品ごとに、「訛った」綴り字や文法が反映された.
- ロンドンの方言とて、中英語方言の一つに過ぎず、標準方言ではなかった.

中英語の方言地図 #130



古英語 *y* の中英語の方言地図



古英語 *y* は中英語では？

- OE *byrgan* “()”:
綴り=(), 発音=()
- OE *bysig* “()”:
綴り=(), 発音=()
- OE *myrige* “()”:
綴り=(), 発音=()

() の否定形はなぜ () か

- *wile*: () 方言
- *wole*: () 方言
- 肯定形は () 方言より発展
($\rightarrow$ *will*)
- 否定形は () 方言より発展
($wole + not \rightarrow won't$)

Spelling-Pronunciation Gap の一因

- 中英語後期，緩やかに（ ）言葉の標準が作り出された.
- 実態は，（ ）方言を基盤とした諸方言の混合体だった.
- 1476 年，William （ ）により（ ）がもたらされ，
- 綴字がおおよそ固定化することとなった.

まとめ

- 中英語は屈折を失い，現代風の分析的な（ ）言語となった
- 中英語は（ ）語と（ ）語の元で地位が低かった
- 中英語の（ ）事情により，現代英語の綴字と発音の乖離の一端が生じた